

第12回神奈川県医師会地域医療対策委員会

日 時 令和6年10月9日(水) 午後2時
場 所 県総合医療会館2階医療救護本部
およびウェブ会議各拠点

開 会
挨 拶
議 題

〔報告事項〕

1. 令和6年度第2回県保健医療計画推進会議(9/30)報告 (01)
〔県医療企画課〕

2. 医師の働き方改革関連情報 (02)
働き方改革推進会議(県病院協会開催)報告
・医師の働き方改革施行後調査結果
・救急医療相談事業#7119の全県展開について

3. 令和6年度第1回県医療対策協議会(9/17)報告 (03)
〔県医療整備・人材課〕

4. 令和6年度病床機能報告及び外来機能報告の実施等について (04)

5. その他(各郡市医師会からの報告等)

今後の開催

第13回	11月13日(水)	(web会議)
第14回	12月11日(水)	(web会議)
	1月休会	
第15回	2月12日(水)	(web会議)
第16回	3月12日(水)	(web会議)

いずれも 第2水曜 午後2時～
1月、8月は休会

神奈川県医師会地域医療対策委員会委員名簿

〔任期：令和7年6月30日迄〕

委員長 内山 喜一郎 (海老名市)
副委員長 赤羽 重樹 (横浜市)
副委員長 大橋 博樹 (川崎市)

池島 秀明 (横浜市)	小川 憲章 (横浜市)
小野田 恵一郎 (川崎市)	秋澤 暢達 (横須賀市)
長谷川 太郎 (鎌倉市)	倉田 あや (平塚市)
武井 和夫 (小田原)	水沼 信之 (茅ヶ崎)
伊藤 薫 (座間綾瀬)	石井 由佳 (藤沢市)
玉置 正勝 (秦野伊勢原)	岡部 元彦 (足柄上)
八木 健太郎 (厚木)	加藤 秀継 (逗葉)
西岡 直子 (相模原市)	楠原 範之 (大和市)
藁谷 收 (三浦市)	木内 忍 (中郡)
窪倉 孝道 (県病院協会)	長倉 靖彦 (県病院協会)
太田 史一 (県病院協会)	

[本会側]

菊岡 正和 (会長)	鈴木 紳一郎 (担当副会長)
恵比須 享 (副会長)	小松 幹一郎 (担当理事)
石井 貴士 (理事)	磯崎 哲男 (理事)

第12回神奈川県医師会地域医療対策委員会レジメ

日 時 令和6年10月9日(水) 午後2時
場 所 県総合医療会館2階医療救護本部
およびウェブ会議各拠点

出席者：内山喜一郎（正・海老名市）赤羽重樹（副・横浜市）大橋博樹（副・川崎市）
池島秀明（横浜市）小川憲章（横浜市）小野田恵一郎（川崎市）秋澤暢達（横須賀市）
長谷川太郎（鎌倉市）倉田あや（平塚市）武井和夫（小田原）水沼信之（茅ヶ崎）
伊藤 薫（座間綾瀬）石井由佳（藤沢市）玉置正勝（秦野伊勢原）八木健太郎（厚木）
西岡直子（相模原市）楠原範之（大和市）藁谷 収（三浦市）木内 忍（中郡）
長倉靖彦（県病院協会）太田史一（県病院協会）
鈴木紳一郎（県医担当副会長）恵比須 享（県医副会長）
小松幹一郎（県医担当理事）磯崎哲男（県医担当理事）石井貴士（県医理事）

《26名》

開 会
挨 拶
議 題

〔報告事項〕

1. 令和6年度第2回県保健医療計画推進会議（9/30）報告

小松理事より報告。今回は、8月に開催された第1回地域医療構想調整会議での各地域の意見を踏まえて協議が行われた。病床整備事前協議について、基準病床数に比べて既存病床数が少ないところは、原則として病床を募集するという考え方になる。今回は横浜、川崎北部、相模原、横須賀三浦、湘南東部においてそれぞれ協議が行われた。横須賀三浦地域は、昨年度138床の病床配分を行っており、その影響について確認が必要という考えで今年度は募集を見送る結論となり、それ以外の地域は募集を実施することになった。横浜と湘南東部は、募集する病床機能を主に回復期と慢性期として、湘南東部では加えて産科機能についても募集する。公募期間は10月7日から11月29日で実施する。川崎北部と相模原については、募集要件詳細を次回の地域医療構想調整会議で検討していくこととなった。次に、回復期リハビリテーション病棟で病床配分を受けた病院から、整備後に地域包括ケア病棟へ変更したいという相談があり取り扱いについて協議が行われた。回復期リハビリテーション病棟は、例えば脳出血や大腿骨頸部骨折後に、リハビリテーションを集中的に行う場所であり、一方で地域包括ケア病棟は、リハビリがメインではなくて、治療が主となり、リハビリも行いながら在宅復帰を目指す病棟で、同じ回復期機能とはいえ性格はだいぶ違う。その点からも、県としては、同じ病床機能であるから変更は良しとはするが、少なくとも事前に地域の中で協議を必要とする、という配慮を入れることで整理された。次に、定量的基準による分析結果及びデータ分析事業の実施について、病床機能報告に

より報告された急性期機能の中に、国のイメージとしては回復期とされる病棟が一定数混ざっており、その結果、急性期が過剰で回復期が不足と見えてしまっているという指摘があり、当県では令和元年度に定量的基準により線引きが行われた。コロナウイルス感染拡大のため、この線引きの作業は休止されていたが、改めて実施することで協議され、令和5年度病床機能報告内容からの分析結果が報告された。定量的基準の考え方としては、手術の実施状況（0.6件/月・床あたり）、救急医療管理加算レセプト件数（0.6件/月・床あたり）、患者の重症度、医療看護必要度が25%以上、という基準で線引きするというものである。分析の結果、急性期のうちの一部は回復期としてみなせる（急性期29,226床のうち、1,777床は定量基準を満たしていないため急性期ではなく回復期とみなす）が、2025年の必要病床数と比較すると依然として回復期が不足している結果となったことが示された。ただ、本県の2025年必要病床数は72,000という、実際（既存病床数60,000）とは大きく乖離している大外れしている架空の数字であって、これと比較してもあまり意味はない。足りないと言われている回復期だが、実際に足りないのかは、地域によって病床機能の比率が違うこと、地域の特性を見ていく必要がある。こうした分析により見え方は少し変わるが、本当に回復期が足りないと思いつむ必要はないと考える。次に、新設された地域包括医療病棟に関する補助金の取り扱いについて、現在、回復期病床への転換には、確保基金による補助があるが、地域包括医療病棟については、担うべき機能で言えば回復期機能の部分があり、基準で言えば、しっかりと救急ができるということでは急性期でもあり、どちらの機能も併せ持っている。県はこの病棟への転換を促したい考えであり、主に回復期機能を提供する場合には確保基金補助が使えるように整理していく。

2. 医師の働き方改革関連情報

働き方改革推進会議（県病院協会開催）報告

- ・医師の働き方改革施行後調査結果
- ・救急医療相談事業#7119の全県展開について

小松理事より報告。医師の働き方改革施行後の調査について、働き方改革が始まって数ヶ月経った時点で、どのような影響があったのか、調査結果（調査機関数298、回答数170、回答率57%）が報告された。医師派遣の影響については、医師が減少したと答えたところは10機関（6%）であった。引き上げのあった診療科は様々で、一部の科に偏ることはなかった。救急医療体制への影響に関しては、今まで通りという回答がほとんどであり、対応可能な診療科の制限や救急当番日の縮小を実施した、または予定しているという回答は7機関（5%）であった。周産期医療提供体制についても、ほとんど影響がないように見える回答状況であった。ただ、この調査では、B水準等の長時間労働をしている医師が働いている医療機関の場合はどうなのかという掘り下げはできておらず、回答数としても300のうち170の回答なので全て影響がない、と言えるものではない。実は、以前は受けてくれていたところが受けてくれなくなり困っている、などの地域の影響を拾えていない可能性はあると思われ、この調査結果から影響がないと胸を張るのは、大きな勘違いだということは県へ伝えている。本来、県がやるべきことは、県民に対して上手な医療のかかり方の広報をしか

り行い、夜間の入院や救急車を呼ぶ件数を減らすための努力と結果をだして、各医療機関の負担がどれだけ減ったかを示すことである。今回の調査で、特に大きな影響がないというのは、個々の医療機関が必死で努力しているということであり、実際は、今の体制を築くために確実に人件費がかかりまして増えている、という事実が隠れているということを忘れてはいけない。

次に、救急医療相談事業（#7119）の全県展開について、県は、医師の働き方改革に伴い、減少することが見込まれる救急医療提供体制の確保の一助とするため、横浜市が既に実施している救急相談事業（#7119）を、本年11月から県が主体となって全県で展開する。救急医療相談事業（#7119）の目的は、救急医療機関を受診する軽症患者の抑制を促して、救急医療機関の負担軽減を図ることとしており、24時間365日コールセンターを置き、業務委託をして実施する。主な業務は、急な病気や怪我の際に、家庭での対処方法や医療機関の受診、救急車を要請した方がよいか、などについて看護師等が電話相談に応じる救急医療相談と、医療機関案内の2つとなっている。救急医療相談に関しては、看護師が相談者から情報収集して、消防庁緊急度判定プロトコルというものをを用いて判断をしていく。緊急性があれば119番を推奨し、緊急性がないと判断した場合は、相談者の希望に応じて医療機関案内を実施する。医療機関案内は、医療従事者ではないオペレーターが行う。案内の流れは、まずはかかりつけ医の受診を案内し、診療時間外であれば、診療中の診療所、病院、休日診等を案内していく。案内する情報は、厚生労働省医療情報ネット（ナビイ）の登録情報と、県救急医療中央情報センターで収集している情報となる。周知、広報については、知事の発表、ポスター、広報動画などを進めていく予定となっている。事業が始まってからの進行管理については、委託をした事業者、県健康医療局、救急専門医により四半期ごとに検証をしながら実施していく。検証メンバーには、県医師会、県病院協会の救急担当理事が参画し、事業運営に関わっていく予定となっている。本件に関しては、特に横浜は、業務委託者が変わることになり、今まで築いてきたものが同じように機能するのかということと、また、地域によっては、市医師会が救急情報センターを運営し、地域住民の問い合わせに対して医療機関との間に入って、受診の応需確認をとってから案内を行っていたり、独自のやり方で調整しているところもある。この#7119は基本的には案内のみであり、さらにオペレーターが、地域のことをよく理解した人が対応してくれるのかという懸念もある。地域によっては、だいぶ違いが出てくる可能性があるため、この事業について先生方に十分にご確認をいただきたい。

3. 令和6年度第1回県医療対策協議会（9/17）報告

小松理事より報告。県医療対策協議会では、医師確保関連として、地域枠医師の研修や専門の研修のプログラム等について議論をしている。今回は、専門研修プログラムに対する意見や地域枠医師や医学生に対して行っているイベントの報告と今後の予定、また、医師の働き方改革に関して、県医療勤務環境改善支援センターの今年度の取り組み等が報告された。

4. 令和6年度病床機能報告及び外来機能報告の実施等について

小松理事より報告。標記について日本医師会より通知があった。本報告制度は医療法の規定に基づいているもので、毎年7月時点における病床の機能等を都道府県知事

に報告するものである。令和4年度からは、外来機能報告として紹介受診重点外来の実施状況、地域の外来機能の明確化、連携の推進のために必要な事項等を報告するという項目が増えている。今年度は、10月1日から11月30までに報告していただくスケジュールとなっている。資料後半は、対象医療機関宛に送致されている通知で、報告作業の流れが示されているので参考までにご確認いただきたい。

今後の開催	第13回	11月13日	(水)	(web会議)
	第14回	12月11日	(水)	(web会議)
	第15回	2月12日	(水)	(web会議)
	第16回	3月12日	(水)	(web会議)

第13回神奈川県医師会地域医療対策委員会

日 時 令和6年11月13日(水) 午後2時
場 所 県総合医療会館2階医療救護本部
およびウェブ会議各拠点

開 会
挨 拶
議 題

〔報告事項〕

1. 令和6年度神奈川県医療審議会(10/15)報告 (01)
〔県医療企画課〕
2. 令和6年度神奈川県医療審議会医療法人部会(書面協議)報告 (02)
〔県医療企画課〕
3. 令和6年度第1回医療政策研修会(10/10) (03)
〔厚生労働省〕
4. 「医師の働き方改革と地域医療への影響に関する日本医師会調査(制度開始後調査)」の集計結果について (制度開始) (04)
5. 令和6年度日医かかりつけ医機能研修制度応用研修会(9/16・10/27)報告 (05)
6. 令和6年度第2回地域医療構想普及促進事業研修会(R7.2/6)開催について (06)
7. その他(各郡市医師会からの報告等)
かかりつけ医うつ病対応力向上研修(10/6中郡会場)報告
かかりつけ医うつ病対応力向上研修(10/20鎌倉会場)報告

今後の開催 第14回 12月11日(水)(web会議)
1月休会
第15回 2月12日(水)(web会議)
第16回 3月12日(水)(web会議)

いずれも 第2水曜 午後2時～
1月、8月は休会

第14回神奈川県医師会地域医療対策委員会

日 時 令和6年12月11日(水) 午後2時
場 所 県総合医療会館2階医療救護本部
およびウェブ会議各拠点

開 会
挨 拶
議 題

〔報告事項〕

1. 令和6年度第2回地域医療構想調整会議（横浜 12/9、川崎 11/25、相模原 11/11、横須賀三浦 12/3、湘南東部 11/13、湘南西部 11/26、県央 11/18、※県西は 12/11 開催）報告 (01)
〔県医療企画課〕
2. 第2回都道府県医師会長会議(11/19)〔テーマ：医師少数地域における医師確保について〕報告 (02)
〔日本医師会〕
3. 上手な医療のかかり方（厚労省ページの更新）に関して (03)
〔厚生労働省/県医療整備・人材課〕
4. 令和6年度第3回地域医療構想普及促進事業研修会の開催について (04)
5. 令和6年医師の届出について (05)
6. その他（各郡市医師会からの報告等）

今後の開催

1月休会
第15回 2月12日(水) (web会議)
第16回 3月12日(水) (web会議)

いずれも 第2水曜 午後2時～
1月、8月は休会